

しまね社会貢献基金登録団体

特定非営利活動法人 日本寧夏友好交流協会



島根から世界へ未来へ

新シルクロード「一带一路」を

一緒に歩きませんか

団体の活動、セールスポイント

●20年たって大きく変わった寧夏

1993年に島根県と寧夏回族自治区が友好交流協定を結んで以来、20年以上経過しました。交流開始当初、タクシー代わりにロバ車が走っていた首府の銀川市の街は今や高層ビルが林立する都会となりました。産学官民の多くの人々が参加してきた両区県民の交流を未来に向けて続けていきます。

●交流のベテラン揃い

協会は設立4年度目ですが、役員・会員の多くが20年来交流を続けています。自治区政府や大学との太いパイプを持ち、これから参加される方にも気軽に相談に乗ります。



団体から寄附者へのPR

20年に亘る交流により寧夏では、「日本と言えば島根」と、抜群の知名度を得ています。日中間は政治的には冷え込みが続いていますが、経済、文化、技術など切っ掛けは切れない間柄であり、市民が交流によって紡ぐ絆によってこれらを支えていくことができます。ご依頼があれば機関誌や行事案内等を送付いたします。

寄附を受けて取り組みたい事業

これまでに寄附を活用して実施した事業

●緑化・芸術交流の取り組み

日本の黄砂の遠因にもなっている寧夏の砂漠での植林事業を継続して実施しています。また27年度は島根にゆかりのある音楽家の参加を得て初めて芸術交流を行いました。



●大学生の受け入れ

毎年夏休みには寧夏の大学で日本語を学ぶ学生たちを1週間の間受け入れます。これをきっかけに島根大学、県立大学に留学する学生も多くいます。

団体の目標

●交流への参加者を増やす

寧夏へ毎年訪れている訪問団もチャーター機を利用して2000年前後をピークに参加者が減ってきています。寧夏は再び注目が集まるシルクロードの要地。悠久の過去・未来を感じることのできる機会を提供します。

●交流の相互化

交流が続いた20数年間、寧夏から島根への訪問団は、政府や大学関係者が中心でした。爆買いが注目をされていますが、寧夏から市民の訪問団を受け入れ、市民間交流に多くの方に参加いただきたいと思います。



〒690-0012 島根県松江市古志原 6-10-53
tel 070-5307-5442
fax 0852-26-6626
mail info@j-neika.org
hp http://j-neika.org